



令和4年4月
木花こども園



4月、子どもたちは新しい環境の中で不安と緊張、とまどいながらのスタートです。子どもひとりひとりが園に慣れ親しんでいく過程はさまざまですが、みんなで集まって食事をする雰囲気は、安心して過ごせる「心のよりどころ」ともなる場です。「園の食事が待ち遠しい！楽しい！」という気持ちにつながるように努めていきたいと思ひます。



園と家庭を結ぶ

「食育」を家庭と園を結ぶ「育ち」の懸け橋として、協力しながら進めていきたいと思ひます。

- ★ 0歳児・・・食べることに慣れる
色々な食べものを見る、触る、噛んで味わうなどの経験を通して食べるようになります。
- ★ 1歳児・・・よくかんで食べる
徐々に園での生活に慣れ、安心して食べられるようになります。
- ★ 2歳児・・・きちんと食べる
生活習慣の基礎が身につくようになり、朝・昼・晩の食事に2回の間食で食べるリズムを身に付けます。
- ★ 3歳児・・・何でも食べる
保育者や友達とのふれあいの中で、何でも食べることの大切さを学びます。
- ★ 4歳児・・・楽しく食べる
食事のマナーを身につけ、友達や保育者と共に食べる楽しさを感じるようになります。
- ★ 5歳児・・・みんなで食べる
年長児になった自覚を持ち、食事作りや準備に給食の尊さを実感するようになります。

♪お家で食育♪

～「いただきます」「ごちそうさま」～

「いただきます」という言葉は、料理を作ってくれた人、食材を販売している人、流通に関わる人、生産者への感謝と、食材そのものの命をいただくことへの感謝の気持ちを表す言葉です。

「ごちそうさま」ということばに含まれる「馳走(ちそう)」という言葉には、馬を駆って走らせるという意味があります。食事を用意するために走り回り、もてなしたことに對するお礼の言葉が「ごちそうさま」なのです。

たくさんの方が関わり、食卓に食事が並んでいることに感謝の気持ちを表すために「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを欠かせないようにしたいものです。

0歳児の離乳食

「授乳・離乳の支援ガイド」(国の指針)に基づいてひとりひとりの成長に合わせて個別に対応します。

1～2歳児の給食

主食(ごはん等)、副食(おかず)、午前と午後のおやつを園で用意します。1日の栄養量の50%程度をとることを目標としています。



3～5歳児の給食

主食(ごはん等)、副食(おかず)、午後のおやつを園で用意します。1日の栄養量の45%程度をとることを目標としています。

食物アレルギーについて

医師の診断及び指示に基づいて個別に対応しています。